

いよいよ入試本番、まだまだ伸ばせる！

茗溪塾塾長 長谷 誠基

12月になり中学受験は千葉県の第1志望入試が終わりました。大学受験の推薦入試の合格も出始め、いよいよ入試本番を迎えます。この時期に受験生に伝えたいのは、「ここからの1ヶ月が勝負！成績はまだまだ伸ばせる！」ということです。今、受験生たちは授業でも入試問題を解き、志望校の過去問をやるなど一番頭がフル回転しているときです。この頭を使っているときに何か1つ理解が加わると、今までの知識につながり、これまで分かっていなかったことが分かるようになります。ですから、これからの勉強では1日に1つでもいいから何か1つ「理解する＝わかる」ことを目標にして下さい。それから今後の勉強で気をつけなければいけないのが、弱点補強をどこまで続けるのか？ということです。この時期に来ると模擬試験や志望校の過去問の結果から、後は弱点のこの分野を何とかすればいいのでは？と考えてしまいます。確かに弱点を克服することができれば点数を伸ばせますが、これはそう簡単なことではありません。今までできなかったものですから、できるようにするためにはかなりの時間と自分の弱いところに向き合う気持ちの強さが必要です。自分の苦手に向き合うのは人間いやなものです。得意なことをやっている時と比べると確実に学習効率は落ちます。そして、弱点補強にばかり時間を使っていると今までできていたものが、演習不足になりできなくなってしまいうこともあります。ですから、いつまでどのくらい時間を使うかを決めておきましょう。実際にはある程度時間が使える冬休みまでは弱点補強を続け、年明けの入試が近い時期になったら得意を伸ばす勉強に重点を移すのがいいと思います。入試直前に苦手単元で5点伸ばすよりは得意単元で10点伸ばすほうが、効率がいいともいえます。要はバランスです。どちらかだけという極端な形にならないように注意しましょう。後は入試当日普段どおりに試験を受けられるか？が鍵になります。今年は新型コロナの影響で受験生への校門での激励はできなくなりました。それに変わる応援の仕方を現在模索中です。それだけに今年は普段の勉強中から「練習は本番のように、本番は練習のように」を意識して欲しいと思います。現在連載中の「ドラゴン桜2」でも普段の過ごし方をすべて本番を意識して行うということが書かれていました。1人で試験を受けることはありえないので、なるべく他の人がいる空間で勉強することや試験の時は周りにどんな人があるか分からないので、少し雑音がするくらいのところで勉強することが重要であるということです。隣の人がペン回しでペンを落としまくっても、くしゃみをしていても動じない心を鍛えていきましょう。